



&lt;お知らせコーナー&gt;

## 「まちづくりシンポジウム 2009」を開催しました

主催：茨城県・桜川市・茨城県都市計画協会

「まちづくりシンポジウム」は、まちづくりに功績のあった団体・個人に対する表彰を行うと共に、まちづくりや景観に関する講演やパネルディスカッションの議論の場への参加を通じて、県民のみなさんのまちづくりに対する意識の高揚を図るとともに、まちづくりへの積極的な参加促進を目的に、昭和 61 年度から毎年開催しております。

今年度は、「まちづくり夢語り」をテーマに、2月6日（土）に桜川市大和ふれあいセンター「シトラス」において開催いたしました。

おかげさまで今年度も多くの皆様にご参加いただきました。



会場



うるおいのあるまちづくり顕彰事業表彰式

## 【プログラム】

## ◆平成 21 年度茨城県うるおいのある

## まちづくり顕彰事業表彰式

うるおいのあるまちづくり顕彰事業は、県民の皆さまのまちづくりに対する意識の高揚を図り、各地域において実施されているまちづくり活動をさらに盛り上げることと、県が推進するまちづくりに対するご理解とご協力を得ることを目的として実施しております。周囲の景観に配慮した建築物や優れた住環境の整備をした方や各種のまちづくり事業に貢献された方などを「まちづくりグリーンリボン賞」として表彰し、また景観に配慮した屋外広告物を設置した方を「まちづくりグッドサイン賞」として表彰しています。

平成 21 年度は、まちづくりグリーンリボン賞で 4 件、まちづくりグッドサイン賞で 2 件が表彰されました。

## 《まちづくりグリーンリボン賞》

- ◎中城通り歴史的街道修景整備事業  
受賞者：土浦市
- ◎時の蔵を保存活用した歴史文化まちづくり活動  
受賞者：下館・時の会
- ◎ウミウのまちづくり事業  
受賞者：日立市
- ◎県営西十三奉行アパートの建設  
受賞者：市浦・横須賀建築設計共同企業体  
関根・佐昌経常建設共同企業体  
清水・河野経常建設共同企業体

## 《まちづくりグッドサイン賞》

- ◎歴史的町並みを演出する行灯・暖簾の設置  
受賞者：土浦・中城倶楽部
- ◎見世蔵表札  
受賞者：結城市



## ◆基調講演

『まちづくりの時代です』

講師：蓮見 孝 氏

〔筑波大学大学院 教授〕



基調講演

蓮見先生からは、先生御自身が携わった地域づくりのプロジェクトから、「酒造組合事業のプロデュース」と、桜川市での「石匠の見世蔵」という活動を具体例にあげ、地域の活性化において大事なことについてアドバイスをいただきました。

また茨城のすばらしさについては、童話「ちいさなおうち」（バージニア・リー・パートン作）を挙げて紹介したり、都会と地方の発展を「金太郎」と「桃太郎」に例えて解説したりと、大変ユニークな講演をしていただきました。

聴講者からは、非常に興味深く、ためになる内容でしたなど、多くの方々から感想をいただきました。



「ちいさなおうち」挿絵

## 地域の強み ～7つのキーワード～

## &lt;第1ステップ&gt;お祭り興し

- ・「バナキュラー」まず風土の資産を再認識
- ・「交流の舞台づくり」人・場・モノを生かす
- ・「プラチック」目的思考からプロセス思考へ
- ・「演劇性（生業性）」個々の得意技を持ち合わせることでまちをミュージアム化する

## &lt;第2ステップ&gt;社会づくり

- ・「リゾーム」（根茎）×「ノマド」（遊牧民）
- ・「連携」＋「参画」＝「プラットフォーム」
- ・「コンビビアリティ」（共歓関係）

地道な活動を継続することでそこに人が集まり、いつの間にか道（社会）ができ、来訪者と一緒になって共に楽しみあえる関係を築くことができる。

## ◆パネルディスカッション

『まちづくり夢語り』

・コーディネーター 蓮見 孝 氏

・パネリスト

川嶋 利弘 氏 （まちづくり真壁 会長）

大関 美智子 氏 （桜川市商工会女性部）

柳田 隆 氏 （ディスカバー真壁 会員）

鈴木 謙一 氏 （桜川市市民協働推進室）

パネルディスカッションでは、桜川市においてまちづくり活動を行う各種団体の方にパネリストになっていただき、所属する団体の活動やまちづくりに対する考え方を述べていただきました。また、地域資源を活かして今後どのようなまちづくりに取り組んでいくべきか、様々な角度からご意見をいただきました。



パネルディスカッション

## ○おわりに

本県は、長大な海岸線や霞ヶ浦、筑波山など変化に富んだ美しい自然、さらには、偕楽園や弘道館等、様々な歴史的・文化的に優れた地域資源を有しています。こうした多様な地域資源は、わたしたち県民の共有の財産であり、魅力的な地域づくりを行うためには、これを守り、つくり、育て、さらに美しいものとして次世代へ継承していく必要があります。

今回のシンポジウムでは、行政と住民の協働による地域資源を活用したまちづくり、個性的で魅力あるまちをどのようにつくっていくかを皆さんと一緒に考えてみました。

参加して頂きました皆様、そしてこのシンポジウムに協力頂きました皆様ありがとうございました。

今後も県内各地をまわりながら、社会情勢や地域のニーズに応じたテーマを設定し、シンポジウムを開催していきたいと考えております。

<茨城県都市計画協会事務局>